

大阪府 都市魅力創造戦略

1 背景 ～なぜ、いま、都市魅力の創造か～

○ 全国的な動き

- ・ 加速する地域主権の動き
⇒ 「都市の横並び」から、「都市間競争」の時代へ
- ・ 低成長・財政難時代の都市づくり
⇒ 「ハコモノづくり」から、「資産・資源の有効活用」へ

↓

多くの人・モノ・資金を内外から惹きつけられる
「魅力あるまちづくり」への転換が必要

○ 大阪の現状

- ・ マスメディア等を通じた偏った・誤った都市イメージの発信・浸透
⇒ 大阪のネガティブイメージの固定化
⇒ 府民の大阪への自信が失われつつある

↓

大阪の多様な都市魅力の発信と、
府民の大阪への愛着心・誇りの醸成が必要

3 大阪府の都市魅力創造の基本的な考え方

戦略目標： 将来ビジョン・大阪『ミュージアム都市 大阪』の実現(平成20年12月策定)

- ① ミュージアム都市 オンリー1 (大阪といえばミュージアム！)
- ② フェスティバル都市 オンリー1 (毎日がフェスティバル！ スポーツを身近で楽しもう！)
- ③ 交流都市 ナンバー1 (大阪・関西に観光客を集めよう！ アジア・世界の人と仲良しに！)

私たちの課題 (今までやってきて欠けていること)

- ① 大阪では、「都市魅力づくり」よりも「利便性」が優先される傾向。
- ② 行政が参画する取り組みが総花的でインパクトが弱い。
- ③ それらの取り組みが行政・経済界主導で、民間・府民の参加が乏しい。(ニーズとのギャップ)
- ④ 行政の情報発信力の不足 (ターゲットを定めず。ターゲットに届かず。ターゲットに響かず。)
- ⑤ それらの取り組みの効果検証が不十分。

課題解決のための要素

- ① 府民が大阪に愛着・誇りをもてるまちづくり。
- ② コンセプトの明確化。
- ③ 民間・府民が主役で、行政・経済界はサポート役。
- ④ 戦略的な情報発信
- ⑤ 実施効果を絶えず検証し、継続、継承。

これらの課題解決のために、全庁的な都市魅力創造の戦略が必要

基本コンセプト (目指すべき都市イメージ)

「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪

だれもが安心して暮らし、生きる喜びを感じ、未来に希望をもてるまち、
を民間と府民とともに創造します。

2 都市の魅力とそのメリット

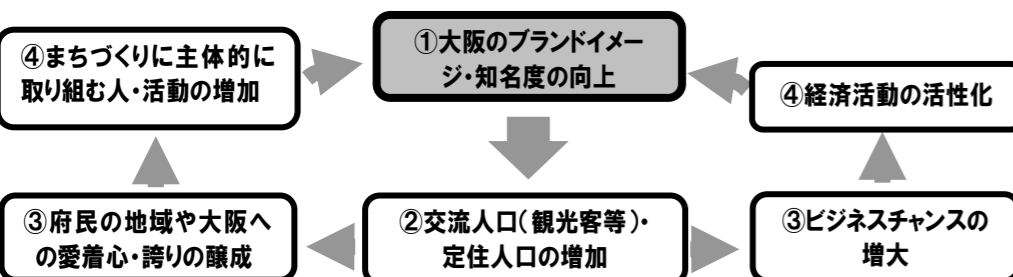
■ 都市の魅力とは

- 「暮らしてみたいまち」
- 「行ってみたいまち」
と思われること

都市の魅力の要素

- 生活環境(子育て・教育・福祉・安心・安全)
- 雇用・産業振興・ビジネスチャンス
- 自然・美観
- 文化(芸術・歴史・伝統等)
- にぎわい・遊び・エンターテインメント 等

■ 都市魅力を向上することによるメリット



基本方針 (基本コンセプトを実現するために強化すべき点)

- ① 次世代に継承される
美しいまちづくり
- ② 実施効果が継続する
にぎわいづくり
- ③ ターゲットに響く
戦略的なプロモーション

美しい水辺や昔ながらの街なみ、豊かな緑などの資産を、地域の人々とともに磨き際立たせ、美しいまちをつくることによって、府民の大阪への愛着や誇りを醸成します。

多くの人々が関わり、人々の記憶に残る大阪らしいにぎわいを創出することによって、地域を活性化し、経済効果を高めます。

ターゲットを明確にした戦略的なプロモーションを展開することにより、口コミなど波及効果を生み出し、大阪の魅力を広く内外に発信します。

大阪府は、民間や府民の主体的な活動をサポート・コーディネートしながら、3つの基本方針の推進を図ります。

■ 目標指標

《定量的指標》

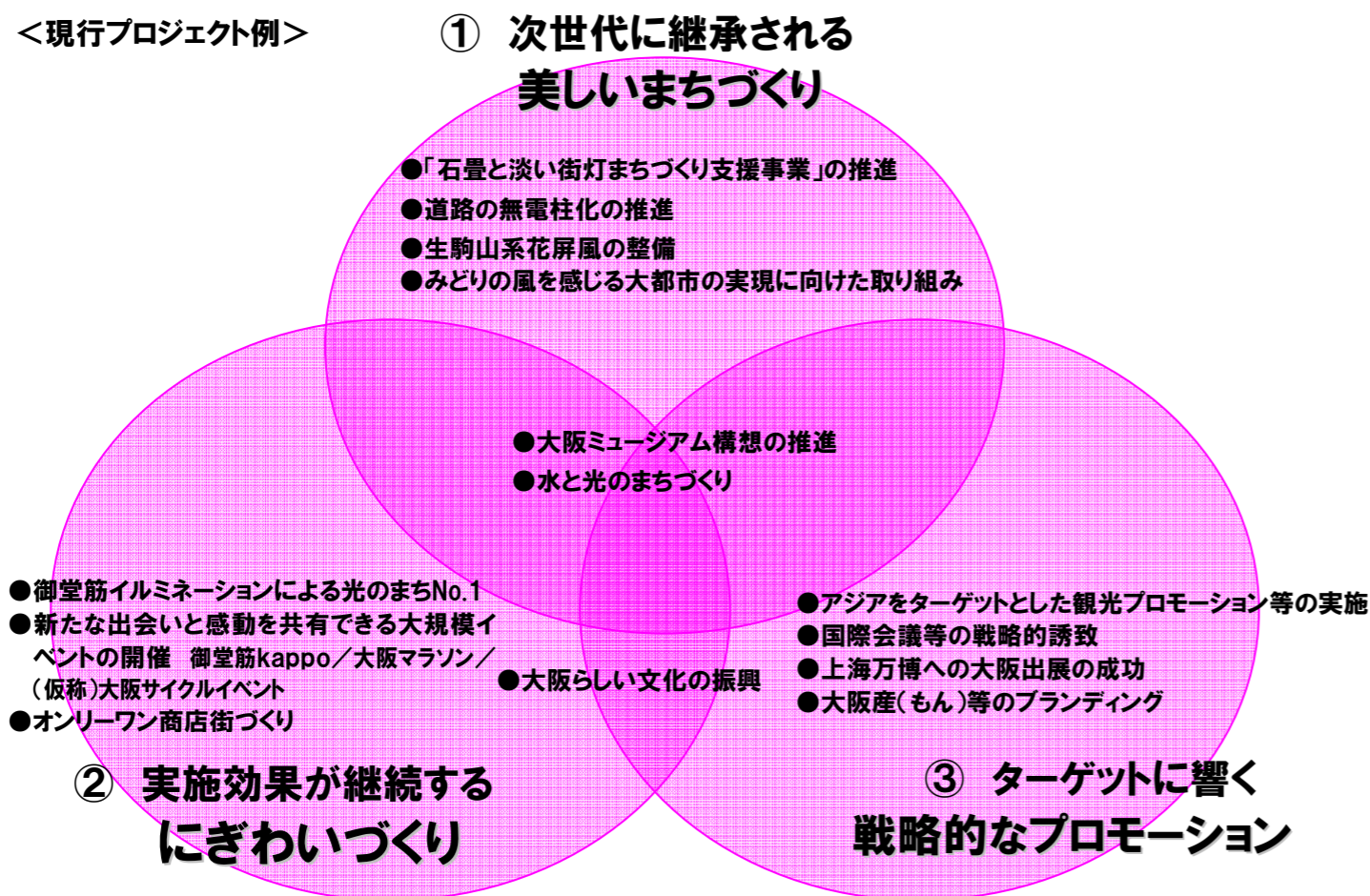
- ① 交流人口(府内外からの観光客数)の増加率の倍増
現状 H15～19:+2.2% ⇒ 目標 H19～23:+4.4%
<H19年度:1.43 億人⇒H23年度:1.5 億人>
- ② 「大阪に住み続けたい」と思う人の割合の増加
現状(H19年度) 74.6%⇒目標(H23年度) 80.0%

《定性的指標》

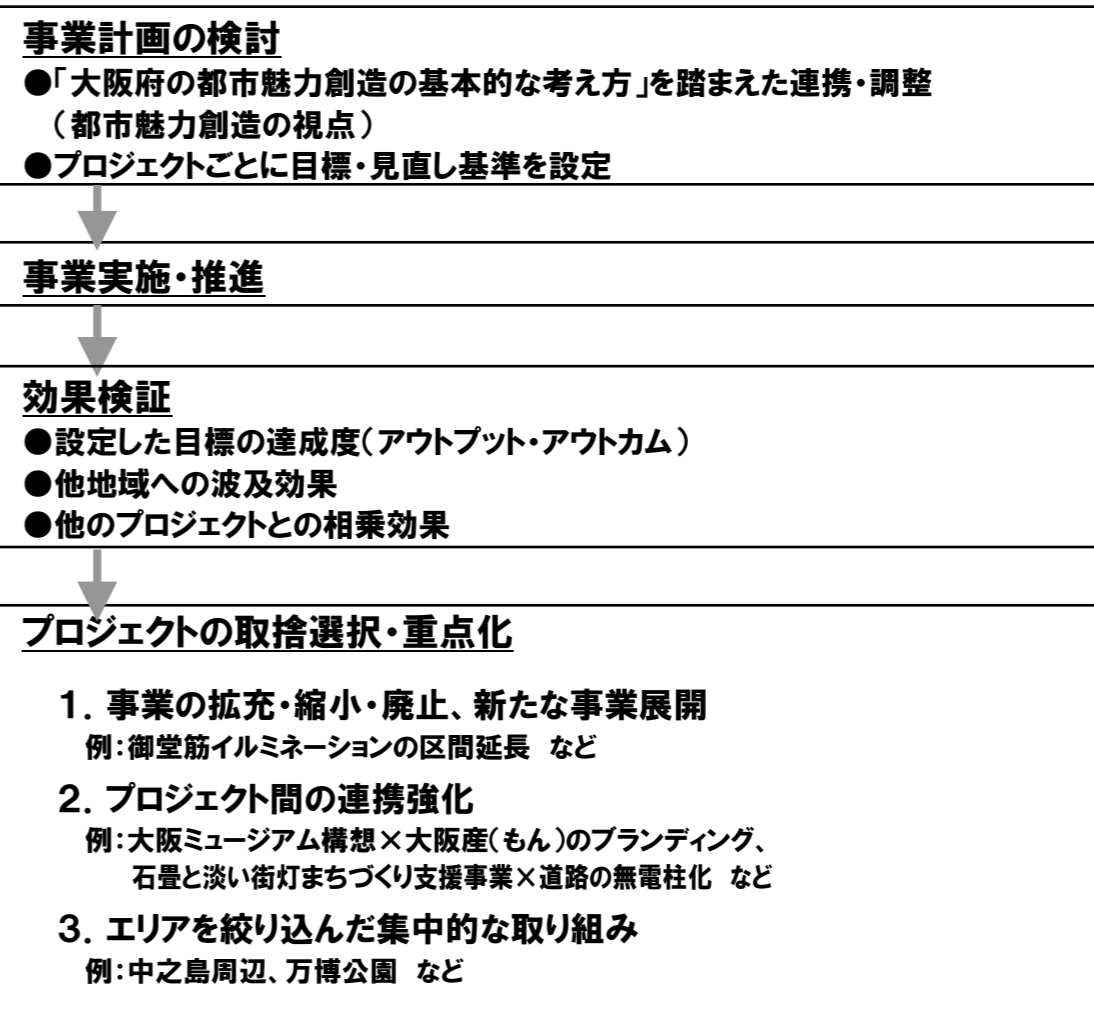
- ① 大阪をよりよく生きることのできるまちに
- ② 若い力とビジネスチャンスをもっとひきつける大阪・関西に
- ③ 生活者の視点からの発想
- ④ Yes, No.1～それはNo.1と言えるか、それは将来No.1になり得るのか？～

4 基本的な考え方を踏まえたプロジェクト例とプロジェクト展開の戦略

<現行プロジェクト例>



A. 3年間を視野に入れたプロジェクト展開の戦略(PDCA)



5 全庁における都市魅力創造の推進体制

B. 都市魅力創造局が全庁の都市魅力創造施策の総合調整機能を担う

- 都市魅力の創造は、全庁で取り組むべき最重要課題のひとつであり、個々の施策についても都市魅力創造の視点が必要。
- 全庁関係課は、「大阪府の都市魅力創造の基本的な考え方」を踏まえ、都市魅力創造局と連携・調整の上、「暮らしてみたいまち」、「行ってみたいまち」の実現を目指す。
- 都市魅力創造局は、各プロジェクトの実施効果の検証を行い、全庁の都市魅力創造施策の総合調整・重点化を図るとともに、大阪市、府内市町村、経済界、民間等と連携し、オール大阪で『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』の実現を目指す。

<体制イメージ図>

